

KAGURA OF MIYAZAKI

みやぎの神楽



TAKANABE KAGURA

高鍋神楽

国立能楽堂公演

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

2026年10月27日[火] 観覧無料 要事前申込(詳細裏面)

全席指定(定員591名)

開場 12:30 開演 13:30 終演 17:30

Takanabe Kagura | National Noh Theatre | 2026, October 27 tue.

Free Admission *Reservation Required(WEB or TEL)

主催：宮崎県／共催：高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町／後援：藝能学会

“ヤマに集い——恵みを寿ぐ”

“ヤマに集い——恵みを寿ぐ”

高鍋神楽——旧高鍋藩領の六社の神社が輪番で斎行する「六社連合大神事」の神楽、「比木神楽」「三納代神楽」「都農神楽」の総称。令和8年3月には、これらの神楽が「高鍋神楽」の名称で国の重要無形民俗文化財に指定された。今回の国立能楽堂での公演は、その記念の意味も含む。「高鍋神楽」の典型は、明治時代前期に現在のかたちとなった「六社連合大神事」で、これは高鍋町・新富町・木城町・川南町・都農町の方々によって継承されてきた。神楽は、「山（ヤマ）」と呼ばれる巨大なコニーデ型の祭壇を設けて斎行され、この地域ならではの特色をもった舞演目が繰り広げられる。

宮崎県内各地には、今なおおよそ200の神楽が伝承されている。県内神楽の確実な歴史記録は600年前前にさかのぼり、神楽はそれぞれの地で、人びとの願いや喜びを込めながら育まれ、地域の祭りとして受け継がれてきた。今年で10回目となる国立能楽堂におけるみやぎの神楽公演は、団体や地域の継承意識の醸成、さらに移住定住の促進、関係人口創出、観光誘客を目的として、また「日本の神楽を世界のKAGURAへ」を合言葉に動き出したユネスコ無形文化遺産登録（令和10年）に向けた全国的な機運醸成として開催される。

同時
開催

神楽セミナー ——あなたも神楽人——

高鍋神楽保存会のメンバーと、神楽を通じた交流を楽しみましょう。

参加無料・要事前申込

プログラム:

① 神楽保存会による神楽紹介・実演等

② 保存会メンバーとの質疑応答・意見交換

日時:2026年10月28日[水] 11:00—12:00

定員:20名

場所:宮崎県東京ビル1階交流スペース

(東京都千代田区九段南4丁目8-2)

下記「お申し込み方法」よりお申し込みください。

みやぎの神楽 国立能楽堂公演 | 高鍋神楽 2026年10月27日[火] 開場 12:30 開演 13:30 終演 17:30

基調講演

上野 誠氏

國學院大學文学部特別専任教授、奈良大学名誉教授

万葉文化論を標榜し、ユニークな視点とソフトな語り口で人気の万葉研究者。多数のメディアにも出演し、『万葉集』を学ぶことの楽しさを多くの人びとに伝えている。『万葉学者、墓をしまい母を送る』（講談社）で第68回日本エッセイスト・クラブ賞など受賞。

演目解説

小川 直之氏

國學院大學名誉教授

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやぎの神楽魅力発信委員会委員長として、みやぎの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。

お申し込み方法

神楽公演・神楽セミナーともに、WEBまたはTELよりお申し込みください。
応募期間:2026年8月6日[木]—10月5日[月]

WEB

記載のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。

<https://3pm-net.com/nogakudo2026/>



TEL

092-732-1688

平日11時-17時、お盆休業日8月13日[木]・8月14日[金]

神楽公演・神楽セミナーともに、一度のお申し込みは2名様まで。応募多数の場合は抽選となります。当落通知は10月13日[火]にメールまたはハガキにて発送予定です。お申し込み時にいただいた情報は、抽選結果の通知および受付対応以外には使用いたしません。



国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

JR:中央・総武線 千駄ヶ谷駅より徒歩5分

地下鉄:副都心線 北参道駅 出口1より徒歩7分

都バス:早81・黒77 千駄ヶ谷駅前より徒歩5分

お問い合わせ:みやぎの神楽国立能楽堂公演事務局(スリーオ'clock内) TEL:092-732-1688(平日11時-17時、お盆休業日8月13日[木]・14日[金])

写真提供:北園 貢

